

開講科目名	日本語IV A			
成績入力担当	王 海涛	開講区分		単位数
		第1クォーター		0.5単位
ナンバリングコード	R1JJ190	曜日・時限等	火4(対面)	時間割コード

授業のテーマ

上級レベルの読解力の育成を図る。

授業の到達目標

1. 上級レベルの読解に必要な語彙、文型、表現等を理解することができる。
2. 様々な論説文を読み、論旨や筆者の主張をつかむことができる。
3. 専門書や学術論文を読解するための読み方やストラテジーを身につける。

授業の概要と計画

※本授業は、原則対面で実施する。

本授業では、論説文の読解を通してアカデミック・リーディングに必要な知識や読解力を身につけていく。論説文の語彙、文法、論旨などを学ぶことにより、専門的な文章を理解するための高度な読解力を養成する。授業計画は、以下の通り。

- 1回目 (4/14) オリエンテーション
- 2回目 (4/21) 読解とは
- 3回目 (4/28) スキミングとスキヤニング
- 4回目 (5/7) クリティカルリーディング(1)
- 5回目 (5/12) クリティカルリーディング(2)
- 6回目 (5/19) 論文読解
- 7回目 (5/26) 読書発表
- 8回目 (6/2) 授業の振り返り

全8回 (15時間)

成績評価方法

課題 (30%)、発表 (20%)、授業参加度 (30%)、最終課題 (20%) で評価する。

成績評価基準

授業参加度は、授業活動への積極的な参加態度や、授業への貢献度で評価する。

最終課題は、上級レベルの読解に必要な語彙、文型、表現、構成などの理解度で評価する。

※出席率70%以上を満たすことが、成績評価の前提条件となる。すなわち、この条件を満たさない場合、自動的にF (不可) とする。

履修上の注意 (関連科目情報)

- ・本授業は上級レベルの日本語科目である。中上級レベルの学習を終えている、または、GEC-JTestで「上級レベル」と判定された学習者を対象とする。
- ・日本語日本語IV Bを同時に履修することが望ましい。
- ・交換留学生 (特別聴講学生) 履修可。

事前・事後学修

- ・2回目から6回目にかけて、事前に該当する読み物を読んで、予習課題に取り組む必要がある。
- ・7回目授業では、事前学修として、発表の準備が必要である (詳細については、1回目の授業で説明する)。

※本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：月曜日 13:30～15:00 これ以外の時間は、要事前連絡。

オフィス：グローバル教育センター3F

E-mail：wanghaitao[AT]people.kobe-u.ac.jp

※上記のアドレスの[AT]の部分を実線マーク@（半角）に置き換えた上で、宛先に入力。

学生へのメッセージ

外国語学習においては、大量のインプットが非常に重要だとされています。皆さんがそれぞれご興味を持つテーマの論説文を積極的に探し、読解を通じて著者の文章構成や展開パターン、言語表現などの知識を学び、蓄積していくことをお勧めします。授業内外で得た知識を積み重ね、それを論文の読解や作成などの研究活動に活かしていきましょう

今年度の工夫

様々な論説文を読解することを通じて、言語知識や文章構造を学び、各自がアカデミック・リーディングに必要な知識や読解力を身につける。

教科書

BEEF+で資料を配布

参考書・参考資料等

授業中に提示

授業における使用言語

日本語

キーワード

日本語 上級 読解 論説文 交換留学生（特別聴講学生）可